

〔別 紙〕

様式 1

事 業 報 告 書
(自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 医療法人社団睦会
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり)
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
- ☒ その他
- ③ ☒ 基金制度採用 ☐ 基金制度不採用
- 注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の ☐ を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)
- (2) 事務所の所在地 岐阜県羽島郡笠松町円城寺 9 7 1 番地
- 注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。
- (3) 設立認可年月日 昭和 5 8 年 2 月 8 日
- (4) 設立登記年月日 昭和 5 8 年 2 月 2 1 日
- (5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	服部 夏樹	病院管理者 愛生介護医療院管理者
理 事	横山 好弘	
同	林 周平	ふれあい介護医療院管理者
同	奥村 将久	
同	杉本 八重子	
同	服部 恭子	
同	国枝 郁照	
監 事	菅沼 利元	

- 注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第 4 2 条の 3 第 1 項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。
2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第 4 6 条の 5 第 6 項参照)
3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第 4 6 条の 4 参照)

2 事業の概要

- (1) 本来業務 (開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	愛生病院	岐阜県羽島郡笠松町円城寺 971 番地	療養病床 117 床
介護医療 院	愛生介護医療院	岐阜県羽島郡笠松町円城寺 971 番地	療養床 36 床
介護医療 院	ふれあい介護医療院	岐阜県羽島郡笠松町円城寺 933 番地	入所定員 54 名 通所定員 44 名

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。

3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
介護保険法における居宅サービス及び 介護予防サービス事業 ・ふれあい訪問看護ステーション	岐阜県羽島郡笠松町円城寺 971 番地	
認知症対応型老人共同生活援助事業 ・グループホーム昭和館まどか	岐阜県羽島郡笠松町円城寺 947 番地の1	
老人居宅介護等事業 ・ふれあいケアステーション	岐阜県羽島郡笠松町円城寺 964 番地の1	
介護保険法における居宅介護支援事業 ・介護プランセンターあおぞら	岐阜県羽島郡笠松町円城寺 971 番地	
老人福祉法における有料老人ホーム ・住宅型有料老人ホームハートピア	岐阜県羽島郡笠松町円城寺 964 番地の1	

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

(3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 4 年 5 月 26 日 事業報告書等報告の件

事業報告書等承認の件

	理事及び監事選任の件
	理事及び監事の報酬額決定の件
令和 4年12月26日	老人保健施設を介護医療医院に転換することについて 介護医療院の開設に伴う定款の変更について 介護医療院の管理者について
令和 5年 3月24日	次年度収支予算案承認の件 事業計画案承認の件 借入限度額決定の件

注) 以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

(6) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

(7) そ の 他

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。(任意)

様式 26-3

法人名 医療法人 社団睦会
所在地 岐阜県羽島郡笠松町円城寺 9 7 1 番地

※医療法人整理番号

財 産 目 録
(令和 5 年 3 月 3 1 日現在)

1. 資 産 額 1,733,737 千円
2. 負 債 額 69,908 千円
3. 純 資 産 額 1,663,829 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	1,105,011
B 固 定 資 産	628,726
C 資 産 合 計 (A + B)	1,733,737
D 負 債 合 計	69,908
E 純 資 産 (C - D)	1,663,829

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式26-1-3（旧法：病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人）

法人名 医療法人 社団睦会

※医療法人整理番号

所在地 岐阜県羽島郡笠松町円城寺971番地

貸 借 対 照 表

(令和5年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	1,105,011	I 流 動 負 債	69,677
現金及び預金	743,528	買 掛 金	3,529
事業未収金	343,910	未 払 金	1,096
たな卸資産	10,521	未 払 費 用	54,762
前払費用	67	預 り 金	10,148
短期貸付金	8,734	仮 受 金	70
立 替 金	14	未払法人税等	72
仮 払 金	335	II 固 定 負 債	231
徴収不能引当金	-2,098	役 員 借 入 金	231
II 固 定 資 産	628,726	負 債 合 計	69,908
1 有 形 固 定 資 産	569,313	純 資 産 の 部	
建 物	339,627	科 目	金 額
構 築 物	3,165	I 利 益 剰 余 金	1,618,829
医 療 機 械	4,202	別 途 積 立 金	50,000
車 輜 運 搬 具	2,640	・ 当期末処分利益	1,568,829
その他機器備品	28,869	II 基 金	45,000
建物附属設備	181,686	純 資 産 合 計	1,663,829
他有形固定資産	9,124		
2 無 形 固 定 資 産	25,330		
水道施設利用権	863		
ソフトウェア	22,319		
電話加入権	2,148		
3 そ の 他 の 資 産	34,083		
出 資 金	220		
生命保険掛金	6,937		
保 証 金	50		
敷 金	6,920		
長期前払費用	3,294		
会 員 権	16,340		
入 会 金	322		
資 産 合 計	1,733,737	負債・純資産合計	1,733,737

(注) 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

様式 26-2-1 (病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人)

法人名 医療法人 社団睦会
所在地 岐阜県羽島郡笠松町円城寺 9 7 1 番地

※医療法人整理番号

損 益 計 算 書
(自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 3 1 日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		1,717,836
2 事業費用		1,618,422
本来業務事業利益		99,414
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		264,632
2 事業費用		275,976
附帯業務事業損失		-11,344
事業利益		88,070
II 事業外収益		
受取利息	12	
その他の事業外収益	16,899	16,911
III 事業外費用		
支払利息	105	
その他の事業外費用	3,404	3,509
経常利益		101,472
IV 特別利益		
補助金	44,730	
その他	0	44,730
V 特別損失		
固定資産圧縮損	21,213	
その他	0	21,213
税引前当期純利益		124,989
法人税・住民税及び事業税		72
法人税等調整額		0
当期純利益		124,917

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

監事監査報告書

医療法人 社団 睦会
理事長 服部 夏樹 殿

私は、医療法人社団睦会の会計年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和5年 5月26日
医療法人 社団 睦会
監事 菅沼 利元